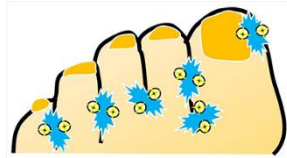




爪水虫(爪白癬)のお話

こんな症状、足の爪にないですか？

- 爪が変形する
- 爪がボロボロかける
- 爪が白色や黄色に濁る
- 爪が厚くなる
- 痛みを感じる



その症状、爪水虫かも！？

爪水虫のほとんどは、白癬菌が爪の中に侵入し、爪の下部である爪甲下をすみかとするものです。爪の表面は固くできているため、白癬菌も侵入しづらいのですが、爪甲下は水分が多く柔らかく、また、ケラチンも豊富に含まれているために、白癬菌の格好のすみかとなってしまいます。足水虫がある場合には足水虫から白癬菌が供給されて爪水虫になることもあります。

どのように治すのか？

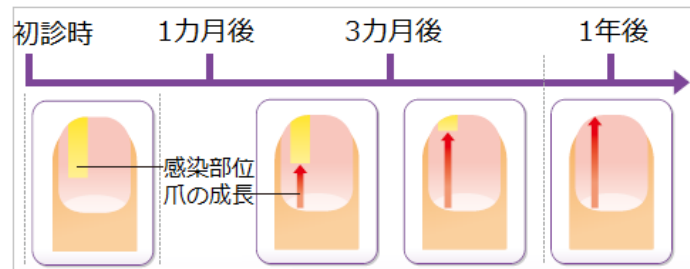
まずは、水虫の診断をうける必要があります。

爪が変色していたり、厚くなっていると爪水虫ではないかと思ってしまうますが、実際は爪水虫ではなくても同じような症状がでることもあります。顕微鏡検査、培養検査で白癬菌がいるかどうか確認することが重要です。当院では顕微鏡検査を施行し当日に爪水虫の診断が可能です。

診断後、塗り薬か内服薬が処方されるため毎日使用してください。爪の生え替わりには一定の期間を必要とします。

一般的に手の爪で約6か月、足の爪で約1年かかると言われています。

そのため、爪水虫の治療は、少し良くなったからやめるのではなく、1年間はしっかりと治療を継続することが大切です。



日常生活の注意点

- ① 足を良く洗い清潔にしましょう。
- ② 足を良く乾燥させ、湿ったままの状態にしないようにしましょう。
- ③ 部屋の通気を良くしましょう。
- ④ 足に直接触れるもの(バスマットや靴下等)はこまめに洗濯をしましょう。
- ⑤ 頻回に床の掃除をしましょう。

